

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民環境講座事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	04	05
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	環境に対する意識・実践行動の高揚を図る。
事業内容	流山市地球温暖化対策実行計画の推進を図るため、自治会・事業所・学校等に出向き実施する環境出前講座と一般市民を対象とした公開講座を委託により実施した。			
事業開始から現在までの状況変化	市民による環境保全活動の促進には環境学習の果たす役割が大きく、環境の現状や取組方法についての最新かつ正確な情報を提供することが求められている。平成22年度からは自治会などに出向いて講義を行う出前講座を開始した。また、平成23年3月の東日本大震災を境に市民の環境への関心は特に省エネルギーの分野において高まったが、エネルギー需要逼迫が一段落し、やや薄れつつある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民環境講座参加者数	364	368	455	人	↑↑↑
②	出前講座参加者数	181	116	166	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民環境講座の参加者数は平成24年度から横ばいの傾向にあったが、子どもや親子などが興味を持って参加したくなるテーマに選択したところ、平成26年度は参加者が増えた。 一方、出前講座については東日本大震災後の平成23年度は依頼も多かったものの、エネルギー需給逼迫が一段落した平成24年度からは減少に転じていたが、平成26年度は小学校からの出前講座を受け、参加者が増えた。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,731,360	1,668,440	2,937,780			
事業費(b)(円)		1,300,680	1,249,220	865,000			
うち一般財源		1,300,680	1,249,220	865,000			
職員給与費(c)(円)		430,680	419,220	2,072,780			
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	若い世代の参加者を増やし、新規の一般の市民が参加しやすいテーマでの講座を行う。	③取り組みの課題	子供向け講座を除き全般的に高齢の参加者が多く、出前講座についてはリピーターが多い傾向があるので、新規の一般の市民が参加しやすいテーマ、会場などを選択する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	子どもや親子が興味をもって参加できるテーマにするなど参加人数の拡大を図った。	④今後の改善計画	若い世代が興味を持ち、新規の一般の市民が参加しやすいテーマづくりを引き続き行っていく。